

認知症サポーター養成講座



『オレンジリング』をご存じでしょうか？オレンジ色の輪っかを手首にはめている人や、名札などにぶらさげている人を見たことがありますか？あれは「認知症サポーター」の証です。認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではありません。認知症に

ついて正しく理解し、ふだんの日常生活の中で、ほんのちよつとした心づかいで、認知症の人とそのご家族をあたたい目で見守ろうとする人たちです。他人ごととして無関心でいるのではなく「自分たちの問題である」という認識を持つことがスタートです。町で、お店で、地域で、認知症だと思われる人が困っているようすが見られたら「何かお手伝いすることはありますか？」と一声かけてみてください。具体的なお手伝いにつながらなくても、気持ちに伝わると思います。また、ご家族は「近所に迷惑をかけているのでは」という思いを持っておられることがありません。「大変ですね。お互いさまですから、お気づかいなく」といった一言や、ねぎらいの言葉をかけることで、ご家族の気持ちはぐつと楽になることもあります。

各務原市地域包括支援センターでは「認知症サポーター養成講座」をおこなっています。地域包括支援センターつつじ苑でも、主に稲羽地区の近隣ケ



アグループやシニアクラブ、ボランティア団体のみなさんなどにお話をさせていたいただきます。商店のみなさんにお話させていただいたこともありま

す。平成18年度から22年度までの間で、地域包括支援センターつつじ苑が講師を務めた分では、稲羽地区で開催12回、355名の認知症サポーターが誕生しました。それ以外にも他の講師や市全域が対象の講座などを受講された方もおられますので、実際にはもっと多くの認知症サポーターが稲羽地区におられます。今年度も7月6日に稲羽シニ

編集後記

平成二十三年九月一日号（稲西だより十三号）が、御家庭の皆様へ届く頃には、あの三・一一東日本大震災から約半年が過ぎようとしております。皆様におかれましては、自治会をはじめ各種団体の義援金活動に、最大限ご協力されたことと思います。さて被災地の皆様には茫然自失状態から脱し、今後の生活設計を考えてみえる段階になっているものと推察します。東北人独自の粘り強さ、飢餓状態での秩序ある行動は世界の人々から絶賛されております。

「ガンバレ東北」この一言を贈ります。

(N)

社協 稲西だより

第 13 号
編 集 発 行
各務原市
社会福祉協議会
稲羽西支部

ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり



稲羽西支部 支部長
柴 山 幸 憲

平成二十三年度の社会福祉協議会稲羽西支部 支部長就任に際し、皆様にご挨拶申し上げます。

まず、このたびの東日本大震災で亡くなられた方々に深い哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今回の東日本大震災は、被害の

甚大さや広大さ、さらに福島第一原発の問題など、かつて経験したことのないものです。新聞やテレビなどの報道で東日本大震災の被災状況がわかるにつれ、その被害の大きさ、あまりの惨状に心が痛みます。

しかし同時に、被災された方々に対する温かい支援の輪や、お互いが助け合う姿に深く心を打たれました。このような時だからこそ、思いやりの心を持ち、助け合い、そして励ましあうことが求められているのではないのでしょうか。

翻って考えると、こうした相互扶助の精神は思いやりの心を持

ち、助け合って地域に根差したまちづくりを実現していく精神に通じています。本年度の社会福祉協議会のテーマである「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」は、まさに相互扶助の精神の実践を通じて実現されていくものと信じています。こころ一つに困難を乗り越えましょう。今後も皆様からのご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

平成23年度 稲羽西支部活動計画

3月	2月	1月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	月
29(木)	17(土)	3(土)	1(木)	19(土)	22(火)	19(土)	19(土)	31(月)	7(金)	2(日)	1(金)
次年度支部三役選出会議	定期支部総会	理事会	稲西だより(14号)発行	支部三役会(稲西だより最終編集会議)	各務原市社会福祉大会	支部三役会(稲西だより最終編集会議)	支部三役会(稲西だより最終編集会議)	支部三役会(稲西だより最終編集会議)	支部三役会(稲西だより最終編集会議)	支部三役会(稲西だより最終編集会議)	支部三役会(稲西だより最終編集会議)

平成23年度 各務原市社会福祉協議会稲羽西支部 役員名簿

役職名	氏 名	出 身 団 体 等	電話番号	役職名	氏 名	出 身 団 体 等	電話番号
支 部 長	柴山 幸憲	小佐野町第1自治会長	382-7532	評 議 員	小島 國弘	下中屋町自治会長	383-4309
副支部長	苅谷 眞行	松本町自治会長	383-1404		永田 英二	成清町自治会長	382-4689
副支部長	小島 一夫	民生委員児童委員(上中屋)	383-0598		岩田 恵子	近隣ケア代表(大野)	382-1925
副支部長	横山 道明	前支部長(成清)	382-2737		可児みゆき	近隣ケア代表(小佐野)	383-7529
理 事 (会 計)	池戸 敏幸	三井北町第3自治会長	383-0458		山田 由利	近隣ケア代表(三井北1)	389-8430
理 事 (福祉推進員)	二宮 済廣	民生委員児童委員(三井)	383-2044		辻 延子	近隣ケア代表(三井北2)	371-1627
理 事 (福祉推進員)	近藤 實	民生委員児童委員(三井北1)	371-2887		大西 洋子	近隣ケア代表(三井北3)	371-5784
理 事 (監 事)	松尾 誠司	神置町自治会長	382-6735		奥村 都茂子	近隣ケア代表(上戸)	382-4865
理 事 (監 事)	奥村 卓司	民生委員児童委員(大佐野)	382-0454		苅谷 道子	近隣ケア代表(松本)	383-1404
理 事	杉本 昭彦	民生委員児童委員(成清)	382-7232		丹羽 比佐子	近隣ケア代表(上中屋)	382-6434
	岩田 重信	大野町自治会長	382-3855		奥村みゆき	近隣ケア代表(大佐野)	382-0441
	杉山 弘	小佐野町第3自治会長	389-6268		松尾 恵子	近隣ケア代表(神置)	382-7469
	武藤 美幸	近隣ケア代表/ボランティアハウスあんずの会(三井)	389-2608		小島佳代子	近隣ケア代表(下中屋)	382-1009
	小島 和子	近隣ケア代表(成清)	382-6570		宮崎 正則	民生委員児童委員(大野)	382-4412
	太田 益久	民生委員児童委員(小佐野)	382-3685		奥村 隆石	民生委員児童委員(小佐野)	382-0288
	小島 美恵子	民生委員児童委員(下中屋)	383-2498		高井 鼎治	民生委員児童委員(三井北2)	382-7749
	奥村 章子	主任児童委員(上戸)	389-0407		奥村 啓	民生委員児童委員(上戸)	382-1472
	澤田 佳辰	稲羽シニアクラブ連合会長(松本)	382-3792		苅谷 武	民生委員児童委員(松本)	382-6214
評議員	可児 勉	小佐野町第2自治会長	383-7529		松尾 弘之助	民生委員児童委員(神置)	383-0423
	岩井 健司	三井町第1自治会長	382-5520		河田 美佐子	民生委員児童委員(上中屋)	382-2495
	二宮 恒夫	三井町第2自治会長	389-0189		太田 美代子	ボランティアハウスみんなであそぼまいか会(小佐野)	382-1095
	三和 由紀	三井北町第1自治会長	382-1437		松尾 裕	ボランティアハウス神置町百歳クラブ	383-3714
	旗 静夫	三井北町第2自治会長	383-7093		鹿島田 稜子	ボランティアハウス三井北町みどりの会	382-2394
	萩原 俊一	三井山自治会長	382-8393		苅谷 京子	ボランティアハウス松本パンダハウス	382-8926
	奥村 廣一	上戸町自治会長	382-4865		奥村 宏明	稲羽西小学校PTA代表(副会長)	090-3580-3350
	丹羽 武久	上中屋町自治会長	382-6434		田口 幸弘	稲羽中学校PTA代表(副会長)(大佐野)	371-5519
	奥村 進	大佐野町自治会長	382-0441		小島 伸夫	稲羽西校区青少年育成市民会議(推進委員長)(下中屋)	382-8275
					横山 清之	稲羽西体育振興会副会長(三井北)	383-9616

平成二十三年 度 稲羽西支部総会を開催

社協稲羽西支部の総会が、五月二十八日(土)午後七時から、稲羽西福祉センターにおいて、地区の自治会長、民生児童委員、近隣ケア代表、ボランティアハウス代表、シニアクラブ代表、PTA代表、青少年育成市民会議代表、体育振興会代表等、四十八名の

役員の出席のもと、ご来賓の各務原市社会福祉協議会の紙谷常務理事、田中主任主事にご臨席をいただき、開催された。

司会を苅谷副支部長が努め、柴山支部長の就任挨拶、紙谷常務理事並びに田中主任主事のお祝辞の後、議長に澤

田佳辰氏を選出し、議事に入った。担当役員から、議題資料に基づき、支部の活動計画(案)、役員(案)、予算(案)について説明があり、審議の結果、原案を承認した。

(内容)は本号のP1・P2・P3に掲載



平成23年度 各務原市社会福祉協議会 稲羽西支部 収支予算書

単位:円

【収入の部】		平成23年4月1日～平成24年3月31日	
科 目	本年度予算額	前年度予算額	備 考
1 支部交付金	400,000	400,000	1,145,000円×35% (H22実績1,150,500円)
2 メニュー事業助成金	474,000	365,000	メニュー事業助成金収入をいう
①近隣ケアグループ研修会(支部)	30,000	0	
②ボランティアハウス事業	159,000	108,000	36,000円×4ヶ所+15,000円
③支部アンケート調査	5,000	0	@50円×100名
④機関紙の発行	147,000	147,000	2回発行
⑤料理で交流事業	8,000	0	@200円×40人
⑥福祉の人づくり育成事業	5,000	0	健康講習会
⑦地域子育て支援・交流事業	20,000	10,000	@20,000円上限
⑧歳末助け合い特別事業	100,000	100,000	100,000円上限
3 雑収入	1,000	154	利息収入(上記に当てはまらない収入)
4 前年度繰越金	718,000	628,146	前年度繰越金
合 計	1,593,000	1,393,300	

【支出の部】		平成23年4月1日～平成24年3月31日	
科 目	本年度予算額	前年度予算額	備 考
1 事務費	92,000	90,000	支部の運営にかかる費用をいう
①会議費	62,000	60,000	理事会・総会・役員会開催
②事務費	30,000	30,000	事務用品・通信運搬費
2 メニュー事業費	519,000	422,000	メニュー事業助成を受けた事業をいう
①近隣ケアグループ研修会(支部)	30,000	0	近隣ケア研修会開催
②ボランティアハウス事業	159,000	108,000	三井、三井北、神置、松本、(小佐野)
③福祉アンケート調査	3,000	0	調査集計作業
④機関紙の発行	147,000	147,000	稲西だより 13,14号
⑤料理で交流事業	20,000	0	@500円×40人
⑥福祉の人づくり育成事業	5,000	12,000	健康講習会
⑦地域子育て支援・交流事業	50,000	50,000	親子ふれあい映画会
⑧歳末たすけあい特別事業	105,000	105,000	友愛訪問
3 助成金支出	190,000	190,000	諸団体の事業への助成金をいう
①子ども会助成	85,000	85,000	子ども会@5,000円×17
②近隣ケアグループ助成	65,000	65,000	近隣ケア@5,000円×13
③体育振興会助成	40,000	40,000	市民体育大会・クロッケー
4 予備費	792,000	691,300	
合 計	1,593,000	1,393,300	

御興つり

三井北町第一自治会子ども会
会長 小笹 真由美



2011.04.18

三井北町一丁目子ども会では、毎年恒例でいくつかの行事を予定していますが、その中の一つである「御興つり」は、主要なものです。

今年は、四月十六日と十七日の二日間、おみこしを担ぎ、町内すべての場所を、子ども達が中心となって、元気で威勢のあるワッショイ声を響かせて巡回しました。好天にも恵まれたこともあり、その雰囲気は充実感にみぎり、言葉で表現できないほどで、楽しいものでした。

この準備にあたって、関係役員は、多少お手伝いのため働きましたが、子ども達には、お御興を飾り付けるため、一連の作業を、低学年から高学年まで、それぞれの持ち場で働き躍進しました。わからないことや、困ったことができたとき、誰それなく相談している姿や、以前より、しっかりした発言や行動力を眼にしたとき、子ども達への成長やたくましさを感じ取り、それはとても微笑ましく素晴らしいものでした。

何かと時間に追われ生活するなかで、皆がひとつの共通目的に向かい、物事を達成させることはあまりないので、お御興作りは大変意義のあるものでした。

この行事を通して、子ども達同士がお互いに心の中に入り込めたこと、また、ワッショイ行動で同行した大人は、日常活動では行かない新しい場所の発見や、久しぶりの顔見知りの出会いなどで、地域をさらに知る絶好の機会ともなりました。

年に一度とはいえ、御興行事を通じて、私たちは、この町をもう一度見直し、引いては心の拠り所を求められる地域としたいです。お御興には、みんなの心の触れ合いが入っていました。

ひとりひとりが押し付けからではなく、自然と団結できる自治会

各務原市自治会連合会会長 松尾 誠司
稲羽西自治会連合会会長



私は、人生で初の自治会長(神置町)、さらには、市自治会連合会長というこのような大役を任されるとは思ってもみませんでした。これもなにかのめぐり合わせと思い、他の会長さん方と協力し、連携をとりながら努めさせていただきますつもりです。

市自治会連合会長の役柄、四月より色々な会議・会合に出席させて頂き会議ごとに勉強させられることばかりです。

過去最悪の被害をもたらしました東日本大震災の被災地や避難所の様子をテレビなどで目にするたびに胸が痛む思いでいっぱいです。それとともに復

興に向けた行動力には驚かされることばかりでその姿を見るたび「我々の住む自治会にも同じ力を備わればどんな困難にも立ち向かうことができる」との思いを強くしました。

自治会には、民生委員児童委員・子ども会・近隣ケアグループ・シニアクラブ・ボランティアなど各種様々な団体があり、ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯・障がい者の方などに住みよい町と言われるように、各種団体と連携・協力しあって地域の福祉問題、より良い地域づくりを目指して活動できるように応援し、安全・安心な町づくりに努めたいと思っています。

今年一年、お世話になりますがよろしくお願いします。



中屋保育所 夏まつり

平成二十三年七月八日

主任児童委員 奥村 章子



等々に別れて親子で楽しく遊びました。

手作りおもちゃのゴムで走らせる車は、空箱(カレールーやお菓子等)に厚紙のタイヤをストローを通して、くっつけ、車の前側に輪ゴムをはさみこみます。その輪ゴムを床にはつ

た厚紙の切りこみにはさんでおいて、はじくと前に進むという大人でも夢中になれる物でした。

その後、風も出てきて涼しくなるところ、庭で盆踊り、花火を楽しみ夏まつりが終わりました。子どもたちが笑顔で遊ぶ様子・お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃんと楽しそうに踊る姿に、とても温かい気持ちになれた夏まつりでした。先生方、民生委員の皆様も本当にありがとうございました。

まだちょっと蒸し暑さの残る夕方六時頃、色とりどりの浴衣や甚平を着て、お母さんに抱っこされたり、お父さんに手を引かれたり、なかには、おじいちゃんや、おばあちゃんも御一緒に来て夏まつりが始まりました。

最初に園舎二階の廊下に隠して(?)ある手裏剣を見つける「宝さがし」をし、景品のお菓子をもらいました。それから「わなげ」「ハイパーホッケー」「てづくりおもちゃ」「スライド・保育所での子ども達の様子」



チームに分かれて競技を行い、思わず我を忘れて、真剣に向かっ

て輪を投げる大人達の姿も見られ、大きな歓声が上がっていました。

また、最近家庭ではなかなか行うことが無くなった、白と杵を使って

大野町三世代ふれあい広場開催

大野町子ども会育成 高橋 美秀子

七月三十日(土)大野町公民館で、第十五回目となる「三世代ふれあい広場」が開催されました。

今年度も、自治会や近隣ケアグループ、シニアクラブ、子ども会、ふれコミ隊をはじめ、未就学児童や町内の父兄など、多くの参加者がありました。

内容は、毎年大人気の、輪投げや餅つき大会、ビンゴゲームなどです。

輪投げゲームでは、大人チームと、子どもチームに分かれて競技を行い、思わず我を忘れて、真剣に向かっ



の餅つき大会もありました。中には杵の重さにフラフラしながらも、一生懸命に餅をつく子どももあり、とてもほほえましい光景が見られました。

会の中で、子どもから「見守り隊」の方々に日頃の感謝を伝える機会を作っていたいただき、子ども達から「雨の日も、暑い日も寒い日も、ぼく達を見守ってくださってありがとうござい

ます。」という、お礼の言葉とともに、記念品を手渡しました。

最後にできあがった、おもちゃを近隣ケアグループの方に、あんなころ餅ときなこ餅にしていたいただき、参加者みんなで美味しくいただきました。

今年も和やかな雰囲気の中、三世代が楽しくふれあう事ができ、良い交流の場となりました。



親子ふれあい映画会開催

親子の「心のふれあい」と「思いやり」の心を育むことを目的とした「親子ふれあい映画会」を稲羽西支部主催で、八月五日(金)に稲羽西福祉センターにおいて開催しました。

今年度は、阪神・淡路大震災で心身に

大きな傷痕を残した子どもたちが、悲しみと苦しみ体験から「命の尊さ」と「人間の真の優しさ」を学び成長する姿を描いた、また、防災とボランティアの大切さも学ぶことができる

文部科学省選定・長編アニメ映画「地

球が動いた日」及び短編アニメ映画「アンパンマン」を上映しました。

この映画会は隣接する更木保育所の夏まつりに合わせて開催しています。当日は、大勢の子どもさんが見えになりました。

皆様のご協力とご理解により、映画会が盛況に終わり、役員一同感謝しております。

(K)